

令和3年第8回田原市教育委員会定例会

- 1 開会 令和3年8月18日 午後1時30分
- 2 閉会 令和3年8月18日 午後3時10分
- 3 会議に出席した委員
鈴木欽也教育長、高崎佐智江教育長職務代理者、金田真也委員
太田孝雄委員、天野千栄子委員
- 4 会議に欠席した委員
- 5 会議に出席した職員
教育部長 増山禎之
教育総務課長 大羽浩和
学校教育課長 近藤智彦
生涯学習課長 山田正勝
スポーツ課長 粕谷幸充
文化財課長 天野敏規
図書館長補佐兼渥美図書館係長 朽名香澄
教育総務課教育総務係長 彦坂幸子
- 6 議事日程
別紙のとおり

田原市教育委員会第8回定例会議事日程

日 時 令和3年8月18日(水)

午後1時30分

場 所 北庁舎2階 200会議室

1 会議録署名者の指名

2 教育長報告事項

3 議 題

- (1) 令和2年度一般会計教育費決算について
- (2) 文化財保護審議会委員の任命について

4 報告事項

- (1) 教育委員連絡報告事項
- (2) 教育委員会委員の任命について
- (3) 小中学校への寄附について

5 その他

開 会 午後1時30分

教育長

本日はご多用のところ、ご出席くださいましてありがとうございます。
す。

ただいまの出席者は、5名であります。定足数に達しておりますので、令和3年田原市教育委員会第8回定例会は成立いたしました。

これより開会いたします。

教育長

それでは、会議規則第13条第2項の規定により、会議録署名者の指名をさせていただきます。今回の署名者として、高崎委員と太田委員の御兩名を指名させていただきますのでよろしく願いいたします。

教育長

それでは議題に先立ち、教育長報告をさせていただきます。

現在、新型コロナウイルスの感染拡大が、また少し心配な状況になってきております。ただ、昨年と比べると今年は、様々なイベント、事業等を何とか形を変えたり、縮小したりと工夫することで実施していることが増えている状況になっていると思っております。

7月15日、東三河小中高特連携教育推進協議会が東三河総合庁舎で開かれました。これは東三河地域における小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の連携を推進するための協議会でございます。

その場で大きく話題となったのは、この春行われた公立高等学校入試の際に、非常に多くの欠員が出たということでした。中高の連携とは直接関係はないのですが、愛知県下では、公立学校で2,600人の欠員が出たということで、非常に大きな数字であります。愛知県教育委員会も、県全体で非常に危機感を持っていて、課題の洗い出しや、対応策を考えている真っ最中であるということで、高等学校の側の立場からの意見や、義務教育の側からの情報も出され、私たち教育行政の立場としても、地元高等学校は、今後も大切に存在してもらいたいというのは強く思っており、東三河全体で同じような傾向があるということも顕著になっておりますので、田原市だけでなく、ほかの地域も含めた県立学校、高等学校との連携、子ども達の進路指導といったものをしっかりとやっていく必要があるという話がなされました。

同じ15日、田原市小学校水泳大会と入れてございますが、今回は、各学校で記録を取って、その記録を持ち寄って順位を出すというような形になりました。水泳大会は今年で最後ということでして、部活動の在り方の検討、熱中症の問題、新型コロナウイルス感染症の問題等、様々なことを考えていく中で、体育連盟のほうで結論を出したというような形でございます。

7月16日と7月26日に、水泳授業の視察をしました。プールの在り方の実証実施として、インストラクターさんに来てもらい、指導を入

れながら、他の学校と合同で行うという授業の形態や、民間のプールへ出向いて、そこでインストラクターさんに指導を受けながら水泳授業を進めるというような形のことを今年進めてきております。

実際に視察をしまして、学校での授業とはまた違った面で、子ども達がとても新鮮な様子で水泳の授業を受けているのがよく分かりました。限られた時間の中、本当に集中して子ども達が水泳の学習に取り組んでいるなということも感じました。実際に授業を子ども達や学校の感想や意見なども、教育総務課で今まとめているところかと思えますので、今後のことに向けて、またそういったものを基に考えを進めていけるといいのかなと思った次第でございます。

7月17日、おしゃべり音楽会が渥美文化ホールで開かれました。宝くじの収益事業の関係で行われた音楽会ということで、昨年やる予定だったものができずに、何とか今年開催することができました。久しぶりな本格的な音楽会ということで、とても聞きごたえのある、よいコンサートになったなというように感じております。

7月19日、三河部都市教育長会議が碧南市で開かれました。三河の市全体の教育長が全員集まって行われた会議であります。県の教育委員会などからの説明や、協議、情報交換等がなされました。

7月20日、小中学校の1学期の終業式が行われました。昨年は、臨時休校等もあった関係で、夏休みが非常に短く、特別な状態の夏を過ごしたわけですが、今年は例年と同じような終業式の期日、夏休みの期間ということです。

7月21日に名経大市邨高校の大羽さん、27日に星城高校の佐藤さん、29日に岡崎城西高校の佐久間さん、8月10日に田原中学校の陸上部、東部中学校の陸上部とソフトテニス部の生徒達、そして、8月12日には小学生の陸上全国大会に出る2人の子というように、インターハイや全国大会に出場する、高校生、中学生、小学生のとても多く子ども達が表敬訪問してくれました。こんな大変な状況の中ではあるのですが、子ども達が頑張っていて、実際に実績を上げている姿に触れることができ、うれしく思いました。

7月30日、東三河教育長会議と研修会が蒲郡市で開かれました。この研修会は、毎年、東三河地区の教育長が持ち回りで行っており、昨年はやはり開催できなかったのですが、今年、蒲郡市のほうで何とか配慮していただいて、生命の海科学館を会場に研修会を無事に行うことができました。

8月1日、田原市三世代ゲートボール大会がサンテパーク田原で行われました。これも何とか例年と同じ時期に開催することができました。

8月5日、愛知県史跡整備市町村協議会が東郷町で開催されました。

この協議会は、史跡名勝や天然記念物の所在する市町村がメンバーというようになっております。加盟市町村が史跡等の整備や調査研究等の活動を通して、文化財の保存と活用に資することを目的とした協議会でございます。

8月7日、田原市スポーツ普及員研修会が渥美総体で開催されました。ニュースポーツの普及ということで実技研修を行いました

その日の夕方、田原城跡夏の竹あかりお披露目式というのが博物館で開かれました。田原中学校のボランティアクラブの子ども達が活動に関わっており、とても素敵な会になりました。これもふるさと学習の一つの形かなというように思いながら、地域の方達と共に活動する場を見ることができました。

8月13日、東京パラリンピック聖火の田原市採火式が開催されました。本来は、シェルマ吉胡を会場にして行う予定だったのですが、雨の関係で博物館の軒下を使って採火式を行いました。5名の障害者の方が参加してくださり、火起こし機で火をともしということに挑戦していただいて、何とか無事に火をつけることができました。

8月17日、市内3高校ウォッチングがありまして、3つの高校を市内の中学校の先生達が参加して、高校の様々な学習内容、施設設備、教育環境といったものをよく理解をしてもらい、中高の連携を図ったり、進路指導に役立ててもらったりという会でございます。

小中高特連携教育推進協議会のところでもありましたとおり、やはり高等学校の欠員が出てしまうという問題がここでも非常に大きな問題になっておりました。地元ですばらしい高校が3つもある。その高校で子ども達が、地元でしっかり学ぶような意識を持たせていきたいというようなことを私のほうからも発言させていただきました。

そして、本日、田原市教育委員会第8回定例会ということでございます。

以上、私からの教育長報告とさせていただきます。

今の報告につきまして、質問等はございますでしょうか。

特にないようですので、教育長報告事項を終わります。

教育長

ではこれより議題に入ります。

初めに、議案第16号「令和2年度一般会計教育費決算について」を議題といたします。

事務局の説明をお願いします。

教育部長

議案第16号「令和2年度一般会計教育費決算について」、令和2年度一般会計教育費決算については、別添によるものとする。令和3年8月18日提出、教育長名です。

次ページをご覧ください。まず、私のほうから全般的なことという

ことをお願いします。

令和2年度予算決算集計表ということで、教育部全体の集計表がご
ざいます。

教育総務課は、令和2年度の決算額が30億856万3,995円というこ
で、前年度に比べて増でございます。

学校教育課は、2億2,959万3,377円で、前年度決算と比較しまして
増額でございます。

生涯学習課は、3億7,984万1,208円で、前年度に比べてだいぶ減と
いうことになります。

スポーツ課は、3,642万6,145円、前年度につきましては3,700万円と
いうことで、若干の減となっております。

文化財課は、1億455万1,999円で、前年度より若干の減となってお
ります。

中央図書館は、1億4,142万7,852円で、前年度より若干の増額とい
うことになります。

教育部全部については、39億40万4,576円で、前年度決算額よりも減
額となっております。

そして、参考としまして一般会計と教育費、それぞれの構成比率を
参考としております。

前年度は15.5%の構成比になっております。令和2年度は12%の構
成比ということでございます。

それでは、各課からの説明を行いたいと思いますのでよろしくお願
いします。

教育総務課長

教育総務課です。

全部で20事業ございますので、要点を絞ってご説明させていただきます。

2ページ上段、教育委員会運営事務です。最終の決算額は276万1,000
円余となっており、前年度と比較すると17%減となっております。新
型コロナウイルス感染症の影響で研修だとかそういったものがなかな
か行けなかったこと等で若干減額となっております。内容につきましては、
記載のとおりでございます。昨年度はこの事業の中で教育大
綱・教育振興計画を策定しておりますので、ご確認のほうをお願いし
たいと思います。

3ページの上段、小中学校の再編事業です。こちらにつきましては、
200万円ほどの決算をしております。これにつきましては、泉中学校閉
校式の関係で若干増加しているという状況でございます。

下段、義務教育振興事業です。こちらにつきましては、決算は平年
並みでございます。内容につきましては、特別支援学校の運営費であ
ったり、小中の体育連盟への支援であったり、そういったものに対す
る支援が主となっております。

4ページ上段、部活動奨励事業です。

こちらにつきましては、小中学生の大会で、全国大会だとかに出場するための経費について支援するものでございます。

7ページ上段、高等学校等生徒支援事業です。これにつきましては、メインは高校生のバス通学定期購入の補助となります。一昨年度の決算が1,000万円余に対して、昨年度の決算は1,500万円余ということで、50%ぐらい伸びているのですが、前々年度は9月から制度開始のため半年間となっており、去年は1年間支援をしたというようなことで、金額が約50%上がっているということをご理解をいただきたいと思えます。

下段、小学校管理運営事業の繰越です。前年度からの繰越事業で、実際に執行したのは昨年度ということになります。内容的には、大草小学校の体育館非構造部材の改修というようなことになります。

8ページ上段、小学校情報教育整備事業の繰越です。こちらも前々年度で予算化して、前年度で執行したものでございます。これは、GIGAスクールの関係の基盤整備でございます。

下段、小学校管理運営事業です。決算額約2億5,000万円です。こちらにつきましては、小中学校の光熱水費や、そのほかの維持管理費になります。

一番大きなものが主な事業内容の3つの点の一番下、スクールバスの運行業務です。童浦小学校、伊良湖岬小学校でバスの運行をしております。経費が5,000万円ほどかかっております。

あと、工事請負費の中で、旧伊良湖岬小中学校の解体が8,000万円ほどかかっております。

9ページ上段、小学校情報教育整備事業です。こちらにつきましては、令和元年度にパソコン教室に導入しましたパソコンのウイルスソフトなどに係る保守の経費でございます。6,300万円ほどの決算になります。

10ページ、小学校管理運営事業の学校配当予算です。

これは、それぞれの小学校18校に配当される予算で、簡単な修繕や備品購入等になります。32.3%というように若干伸びておりますが、昨年は新型コロナウイルス感染症対策で、国から補助金が出まして、手指消毒や体温計などを各学校で配備しております。これらで約2,000万円の増というような状況になっております。

11ページ下段、小学校教育扶助事業。こちらにつきましては、要保護及び準要保護児童の就学援助でございます。金額的には1,200万円余、前年度並みの決算となっております。

12ページ上段、小学校特別支援教育就学支援事業です。

こちらにつきましても、障害のある児童の就学支援でございまして、190万円ほどで、前年度並みとなっております。

13ページ、伊良湖岬小学校整備事業です。上段が繰越分、下段が現年度分となっております。それぞれ校舎の新築、外構にかかる部分でございます。

14ページ上段、中学校管理運営事業の繰越分です。こちらにつきましては、泉中学校と赤羽根中学校の統合に絡んで、赤羽根中学校の体育館や外構について整備を行っております。

下段、中学校情報教育整備事業の繰越分です。こちらにつきましては、先ほど小学校分で説明しましたものの、中学校の整備の内容でございます。

15ページ上段、中学校管理運営事業です。中学校にかかる光熱水費、工事等がございます。主に大きな金額としては、福江中学校と伊良湖岬中学校が統合した関係で、スクールバスの運営経費が約5,000万円かかっております。このほか、工事請負費の中で、泉中学校と赤羽根中学校の統合に絡んだ、泉校区内のスクールバスのバス停といったものを整備しております。

16ページ、中学校管理運営事業の学校配当予算です。先ほど小学校分で説明したとおりでございます。こちらにつきましても、新型コロナウイルス感染症対策として、1,000万円ほど一昨年よりも増額という状況になっております。

17ページ下段、中学校教育扶助事業です。こちらにつきましても要保護及び準要保護生徒の就学援助でございまして、前年度と同じぐらいの金額で決算をしております。

18ページ上段、中学校特別支援教育就学支援事業です。こちらは、支給対象人数の増加があったため、若干経費が上がっております。令和元年が18名、令和2年度は23名となっております。さらに、学用品の支援内容の単価が若干上がっておりますので、総額として71%増というような形で決算となっております。

39ページ下段、給食センター運営事業です。こちらは主にPFIに委託しておりますので、ほぼ4億7,800円の決算額のうち、ほとんどがPFIに関する委託の経費でございます。

40ページ、給食センター給食物資購入事業です。こちらにつきましては、2億4,600万円余の決算でございまして、主に児童生徒と園児にかかる給食費の支出になっております。賄材料費の支出というようになります。

以上で教育総務課の決算の内容の説明とさせていただきます。

続いて学校教育課の分につきまして前年度決算から大きく変動したもののについて、主なものを説明いたします。

1ページ下段、教育統計調査事務です。こちらについては主に学校基本調査に関する用紙等で、大きく昨年と変動はありません。

4ページ下段、学校教育推進事業です。こちらは決算額が前年度か

学校教育課長

ら約1,190万円の増額というようになっております。この主な理由は、新型コロナウイルス感染症対策業務として約965万円が追加されたことによります。また、「学びのみかた」と呼んでおりますが、非常勤講師について、42人から38人と人数は減っているのですが、新型コロナウイルス感染症関係で7月、8月の授業日が増えたことに伴い、時間数が増加したことなどによって増額になっております。

5ページの上段、国際理解教育推進事業です。こちらは、前年度から約770万円の減額になっております。主な理由は、ALT外国青年語学講師が2名から1名に減ったということと、委託料が減額になっているということによります。

下段の教育サポートセンター事業です。こちらは約180万円の減額になっております。主な理由は、適応指導教室の利用者増加に伴って、メンタルフレンドを4名から6名に増員したということで、本来なら額も増えるのですが、その分学校経営相談員1名を廃止して、教育相談員3名で業務を行うように変わったということで、少し減額になっております。

6ページの上段、教員研修事業です。80万円ほどの減額になっております。こちらについては、当初の予算から事業規模が縮小になっているため、交付金とか委託料が減額になったということになります。

下段、共育推進事業です。こちらは約100万円の増額になっております。主な理由は、教育活動支援員が28名から35名に増員して、児童の学習支援や生活支援の充実を図ったことによります。

12ページ下段、小学校教材購入事業です。こちらは、大きく3,750万円ほどの増額になっておりますが、教科書がちょうど変わる年で、教師用の教科書や指導書、教育資料等を購入したこと、さらに大きいのは、全校の児童にタブレットが導入されたということによる増額になります。

18ページ下段、中学校教材購入事業です。370万円ほどの増額になっております。こちらの理由も、全校の生徒にタブレットが導入されたということによる委託料と賃借料増額が主な理由になっております。

学校教育課の分につきましては、以上になります。

生涯学習課です。お願いします。

生涯学習課全体の決算額は、令和元年度に比べると51.3%の減額となっております。こちらにつきましては、ふるさと教育センターの整備事業や田原文化広場の整備事業など、整備が完了し、事業が減ったため大きな減額がございました。

それでは、主要な事業、前年度比で決算額に大きな増減のあったものを説明させていただきます。

19ページ、児童クラブ運営事業と放課後子ども教室運営事業がございます。児童クラブ数10校、子ども教室数7校です。事業内容に大き

生涯学習課長

な変更はありませんが、新型コロナウイルス感染症の影響で、学校の夏休み期間が短縮されましたことに伴い、放課後子ども教室等の開催時間も例年より少なくなりまして、指導員の賃金が減少したため、多少の減額となっております。

21ページ上段、成人式運営事業です。決算額は197万9,618円で、前年度に比べて25.7%の増額となっております。増額の要因としましては、新型コロナウイルス感染症対策のため、田原総合体育館と渥美文化会館の2会場で式典を開催したため、記念品や要約筆記、手話通訳派遣委託料、新型コロナウイルスの対策物品の購入により増加してございます。

22ページ下段、ふるさと教育センター運営事業です。決算額は506万3,582円と前年度比27%の増額となっております。ふるさと教育センターにつきましては、令和元年10月開所のため、需用費等の支出が少なく、令和2年度は1年間分の支出となるため増額となっておりますのでございます。

23ページ上段、家庭教育推進事業です。決算額は40万円で、前年度45%の減額となっております。減額の要因としましては、こちらも新型コロナウイルス感染防止対策に伴い、保育園や認定こども園における幼児教室等の開催数が、19園から7園に減少したため決算額が減少しているものでございます。

下段、芸術文化振興事業です。決算額は220万3,932円で、前年度に比べると44.9%の減額となっております。こちらの要因としましても、新型コロナウイルス感染防止対策のため、各種事業が中止となったり、委託料、補助金が減少したための減額となっております。

27ページ上段、赤羽根文化会館運営事業です。決算額は1,150万7,074円になります。前年度に比べますと19.7%の減額となっております。減額の要因としましては、昼間受付職員の廃止に伴う賃金の削減によるものでございます。

28ページ上段、渥美文化会館整備事業です。決算額は605万円です。こちらは令和2年度に、文化ホールの非構造部材耐震改修工事で、軽量天井吊り金物や新設の照明落下防止対策金物の設置工事を実施しましたものです。令和2年度だけの事業となっておりますので、前年度との増減等はございません。

31ページ下段、江比間野外活動センター運営事業です。決算額は1,121万6,896円で、前年度に比べて24.6%の減額となっております。減額の要因としましては、こちらも新型コロナウイルス感染防止対策のため、休館や利用制限、さらには宿泊不可期間により、需用費、役員費、委託料費、使用料及び賃借料等が減少したことによるものです。

36ページ下段、中央公園スポーツ施設運営事業です。決算額は659万857円で、前年度に比べますと31%の減額となっております。減額の

要因としましては、昼間の受付職員を削減し夜間受付のみとしたことに伴う賃金が減少したものでございます。

38ページ上段、白谷海浜公園陸上競技場運営事業です。決算額は1,049万8,045円で、前年度に比べて33.2%の減額となっております。工事請負費及び備品購入の減額によるものが、大きな減額の要因となっております。

下段、赤羽根文化広場運営事業です。決算額は696万8,586円で、前年度に比べますと33.8%の減額となっております。減額の要因としましては、昼間、夜間の受付職員の廃止に伴う賃金の削減や、修繕費等の需用費削減によるものです。ただ、昼間の受付につきましては、シルバー人材センターに委託しておりますので、その分は増えていますが、減額のほうが多いというような状況となっております。

生涯学習課は以上です。

スポーツ課長

スポーツ課でございます。よろしくお願いいたします。

スポーツ課は全部で5事業でございます。

33ページ上段、スポーツ振興事業です。伸び率68.3%といった内容でございますけれども、主な内容としては、学校プールの在り方調査を実施したということです。調査内容は、市内小中学校22校の現状の分析や将来コストの計算、あるいは温水プール活用型の小中学校水泳授業実施に関する調査等となっております。

下段、スポーツ団体支援事業です。マイナス28.7%となっております。こちらについては、愛知県市町村駅伝、スポーツ少年団交流が、新型コロナウイルス感染症によって中止というようなことで減額となっております。

34ページ上段、学校施設開放事業です。こちらもマイナス28.7%となっております。こちらは、令和元年度に東部中学校のナイター施設照明を撤去しており、前年度の決算額が増えているため、令和2年度については、決算額が減額となっております。

下段、スポーツ大会開催事業です。マイナス87.6%となっております。減額の主な理由は、ニュースポーツ大会、中学生バスケットボール教室、中学生野球教室、中学生バレーボール教室等が新型コロナウイルス感染症対策によって中止になったためでございます。

35ページ上段、スポーツ大会支援事業です。マイナス20.0%となっております。こちらの理由も、トライアスロン大会、サーフィン全国大会、渥美半島駅伝大会等が中止になったためでございます。

以上でございます。

文化財課長

続いて、文化財課です。よろしくお願いいたします。

文化財課は6事業あります。

28ページ下段、埋蔵文化財調査事業です。前年度から減額となっております。ふるさと教育センターの展示室につきまして、新型コロナ

ウイルス感染症の関係で、前半部分休館をしており、7月から開館をしてきたものでございます。

29ページ上段、文化財保護事業です。決算額は591万8,522円で、前年度決算に比べましてマイナス14%となっております。こちらのほうは文化財の保護に関わっている事業でして、主な事業内容にありますとおり、文化財ガイドVI「渡辺嶺山」や、渥美半島の戦争遺跡のリーフレット等を印刷しているようなところがございます。

下段、吉胡貝塚公園運営事業です。決算額が995万6,746円で、前年度決算に比べまして、10.1%減額ということになっています。こちらは、新型コロナウイルス感染症の影響によって休館もしてまして、利用が減ったということもございます。それから、シルバー人材センターに、公園の維持管理などの委託をしている内容等も見直してございまして事業を進めているところになります。事業内訳の備品購入費中、AED1台は、耐用年数が切れておりましたので、交換をしたというものでございます。

30ページ上段、博物館運営事業です。決算額は、4,718万5,412円になりまして、前年度決算と比べまして、15.6%の減額ということになっております。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症による休館が前半ありまして、その後開館はしたのですが、入館者が減っているという状況があります。主な事業内容中、民俗資料館の入館者数を見ていただくと、令和元年度の3,397人が、令和2年度は、160人になっております。こちらのほうは、予算等の見直しによって、通常開館をしていたのを、申込制による開館ということに変えた結果、利用者が激減してしまったということになっております。博物館のほうも工事請負費等で防災監視盤等、それから高圧受電設備修繕工事等で修繕のほうも進めてきたところでもあります。備品購入でAEDをこちらのほうも耐用年数切れで交換をさせていただいているところがございます。

31ページ、池ノ原会館運営事業と、32ページ下段の嶺山会館運営事業になりますが、こちらは公益財団法人の嶺山会に指定管理を委託している事業であります。

嶺山会館運営事業をご覧くださいますと、池ノ原会館も同じですが、新型コロナウイルス感染症の影響で利用者数は減少しているというところがあるのですが、嶺山会館のほうは補助金として、嶺山会の文化事業補助金という補助金を3分の2以内の補助率で支出をしているというところで、令和2年度につきましては113万4,000円という補助金の支出をさせていただいているところになります。

以上です。

図書館です。

図書館は、2事業になります。

渥美図書館係長

25ページ、図書館運営事業です。市内の図書館3館及び、市内の小学校を巡回する移動図書館車2台の運営管理をしているものです。決算額は1億1,433万7,913円です。令和元年度の決算額と比較して1,595万9,836円の増額となりました。伸び率としましては16.2%でございます。増額の主な内容は、事業費内訳の工事請負費にありますとおり、昨年度は中央図書館の飛散防止フィルム貼工事を実施したことが大きな要因となります。

26ページ上段、図書館資料収取事業です。こちらは市内の図書館及び、移動図書館車のサービスに必要な資料の収集整理を行うものです。決算額は、2,708万9,939円です。前年度の決算額と比較して377万6,538円の減額です。資料費は年々減額しておりますが、市民の多様なニーズに応える資料の提供と、経費の抑制を両立させるため、資料費の効率的な使用と、雑誌スポンサー制度の導入による財源確保などの工夫に努めております。

以上でございます。

教育長

事務局の説明が終わりました。

何かご質問等がございましたら、ぜひ出していただきたいと思えます。

太田委員

最初の教育部の令和2年度の予算決算集計表のほうですが、上の表の教育部の合計と下の参考のほうの教育費の数字が違うというのは、教育費の中には教育部以外でも教育費ということで計上しているものがあるためにこういう数字の違いがあるのでしょうか。

教育総務課長

上の表のほうは、欄外に書いてありますように人件費が入ってございません。まずは、大きなところはこれが何億か違います。それから、例えば渥美支所で持っている教育費分だとか、そういったものが若干ございます。それを足し込んでいくと参考の令和2年度決算額の43億9,600万円という数字になります。

教育長

そのほか、いかがでしょうか。

金田委員

質問というより、教えてもらいたいのですけれども、8ページのスクールバス童浦小とあるのですけれども、どこの地区の子が何名ぐらい利用しているのかなと思ひまして。

教育総務課長

白谷地区の児童が童浦小学校まで通っています。人数は10前後となっております。

金田委員

ありがとうございます。

教育長

そのほか、いかがでしょうか。

太田委員

6ページの共育推進事業の中で、スクールソーシャルワーカー2名とスクールソーシャルワーカースーパーバイザー1名とありますが、スーパーバイザーの方は以前から入っていたのでしょうか。

学校教育課長

はい。大学の先生になるのですけれども、その方に年に2回か3回、

教育長

ご指導していただいております、今年も入っております。

スクールソーシャルワーカーに、より経験も積んでもらって、業務がより良くなっていくためのアドバイザー的な形で、定期的に見てくれるというものです。

太田委員

これはずっと継続して同じ方がやってみえるのですか。

学校教育課長

スーパーバイザーさんは、同じ方をお願いしています。

太田委員

わかりました。

教育長

よろしかったでしょうか。

では、そのほかご質問もないようですので、ここでお諮りいたします。

議案第16号「令和2年度一般会計教育費決算について」原案どおり可決することにご異議ございませんか。

(異議なし)

教育長

では、ご異議なしということで議案第16号につきましては、原案どおり可決いたしました。

次に、議案第17号「文化財保護審議会委員の任命について」を議題といたします。事務局の説明をお願いいたします。

文化財課長

議案第17号をご覧ください。

田原市文化財保護審議会委員の任命について、田原市文化財保護審議会委員を別紙のとおり任命するものとする。

令和3年8月18日提出、教育長名です。

提案理由でございます。田原市文化財保護審議会委員3名が任期満了となるため、新たに審議会委員の任命をするものとなります。

1枚はねていただいて、名簿がつけてございます。3名の方ですがいずれも再任になります。

1人目、葉山茂生さん、専門分野は歴史・自然。

2人目、伊藤博文さん、専門分野は地理学。

3人目、渡辺幸久さん、専門分野は自然。

任期につきましては、令和3年10月1日から令和5年9月30日となります。

以上です。よろしく申し上げます。

教育長

事務局の説明が終わりました。ご質問等ございますでしょうか。

ご質問もないようですので、お諮りいたします。

議案第17号「文化財保護審議会委員の任命について」原案どおり可決することにご異議ございませんか。

(異議なし)

教育長

では、ご異議なしということで議案第17号につきましては、原案どおり可決いたしました。

教育長

続いて、報告事項に入りたいと思います。

高崎委員

それでは、教育委員の皆様方の連絡・報告事項を順次お願いしたいと思っております。高崎委員さんからお願いします。

7月30日、東海市で開催されました令和3年度愛知県市町村教育委員会連合会第2回理事会に参加させていただきました。

豊川市の委員さんとも何カ月かぶりにお会いして情報交換等することもできて、有意義な時間を過ごさせていただいたように思います。

当日でございますが、議題といたしまして、令和4年度の文教の施策と予算措置に関する要望事項について、それから令和3年度、4年度愛知県市町村教育委員会連合会負担金についてという議題でございました。それから、GIGAスクール構想に基づく児童生徒へのタブレット端末配布・活用の現状と課題、教職員のメンタルヘルス等相談窓口について、この2点について他市より質問が事前にあり、意見交換等を行ってきました。こういったことを8月17日に愛知県の教育委員会へ要望として提出されるということです。

それから8月15日まで博物館で行われていました、県美の移動美術館に主人と一緒に行ってまいりました。竹あかりのお披露目の後でございましたので、竹が道路に飾ってあり、とてもいい雰囲気の中、博物館に入館させていただきました。その竹の様子が七宝の様など、普段お子さん達が目にしないような様子が彫られていたりして、感動いたしました。

移動美術館では、田原市で身近にこうしたすばらしい作品を展示していただいたことに感謝申し上げます。

並びに、渡辺華山の常設展を再度拝見いたしました。私、芸術というものは、ゆとりが必要なんだろうなということを思っていたのですが、物がない、また、貧しいときに、こうして自分を奮い立たせて、国を案じて自決したというようなことを目の当たりにしたときに、いろいろと感慨深いものがありました。

どんどん教育も変わっていくのだらうと思うのですが、大事なことを思い知らされたように思います。

こうしたすばらしい作品を見ることによって、若い先生方が価値観を広げたり、見聞を広めたりされるということが、いい機会になるのではないかなということを思いました。

先ほど公立高校の欠員のお話がありました。田原市からも、他市の私立の強豪校に行かれるお子さまもちろんいらっしゃって、それはそれですばらしいと思っておりますけれども、地元の公立高校の中で、与えられた中で最後まであきらめないということを学んでいただけるのも、オリンピックで服部選手のゴールを見たときに、自分の役目を全うするという、自分の務めを果たすというか、そんなことを、スポーツをやる上で、子ども達に、勝つだけではなく、ほかの面からも学んでいただけるとありがたいなということを痛感いたしました。

教育長

以上です。

ありがとうございました。

金田委員、お願いします。

金田委員

7月21日に男女共同参画推進懇話会に参加してまいりました。初めての参加だったのですけれども、オブザーバーとして愛知大学の教授の方が説明をしてくださり、非常に分かりやすく工夫されていたなと感じました。

豊橋市は38万人の都市で、委員が7人。それに対して田原市は20名いるということで、男女共同参画に非常に力を入れているんだなということをもっと感じました。また、今回新型コロナウイルスは女性不況と言われていて、宿泊、飲食、生活、娯楽業が特に悪いということで、特に立場の弱いシングルマザーの方などが苦しんでいる、そんな説明を受けました。また、それに準じて女性の自殺者も増えているとどのように説明を受けました。

次に、生理の貧困について話し合いがされたのですけれども、その中で、委員の方から、貧困という言葉についてすごく違和感があるような感じで、スマホは買えるのに生理用品は買えないのか、それは貧困というのをおかしいじゃないのかとか、価値観が違うじゃないのかとか、そんなような質問がありました。

そんな中、男性の委員が5名いたのですけれども、自分も質問しなかったのですが、発言は一切ありませんでした。多分、自分もですけど、生理だとか出産だとか、そういった経験がない人間が、果たして言っているのか、とにかく言葉を選んで発言しなければならないなどというその責任のほうが多くて、おそらくほかの人達もそういった感じで遠慮したのではないかなと、そんなふうに思いました。

強いて発言するとしたら、トイレットペーパー同様に生理用品を置くとしたら、貧困という言葉を使わないほうがいいのかと、そんなように感じました。

次に、これは自分のことですが、7月20日過ぎから愛知県立農業大学の研修生を受け入れています。農業体験をするということで受け入れているのですけど、暑さを経験したことがない子に、熱中症対策を踏まえてコロナ対策をした暑い中で作業をさせ、その子一人をみているだけで、こんなに大変なのかと思ったときに、それを何人も見ている学校現場だとか、保育の現場の先生達は、多分相当苦労しているのではないかと、そんなように感じました。自分の場合は直接命に関係する熱中症対策のほうを重点的に置かせていただきました。

あと、自分も30年前、学生のとときに農業研修ということで研修を受けていたので、そういった恩もあってこうやって研修生を受け入れており、5回目ぐらいになるのですが、その都度やはり自分が感じるのは、改めて研修先の方に感謝の気持ちがすごくあり、自分はそのとき

教育長

太田委員

は研修生としては一所懸命に頑張っていたのですが、その研修先の人はもっといろいろな気を使ってくれたりだとか、大事にしてくれたのだなということ、改めて受け入れるたびに思います。これは主観ですけど、研修に行ったら、その人はまた、受け入れる立場になれば、またさらに大きな学習というか、深い学びを得るのかなと、そんなように感じました。

自分からは以上です。

ありがとうございました。

続いて、太田委員お願いします。

私はこの期間、教育委員としての行動はありませんが、2点この期間に思ったことを報告させていただきます。

1点目は、夏休みについて、去年は新型コロナウイルス感染症の関係で短縮されましたが、今年はフルにあと2週間余りもあります。けれども、新型コロナウイルス感染症、熱中症、それから最近の大雨と、子ども達が家庭に帰っても制約されている部分があるのではないかと、どのような夏休みを、子ども達が過ごしているのかなということをおもいました。

うちも孫が2人いるのですが、小学校の低学年の子は、平日は児童クラブに昼過ぎぐらまで行っているのですが、小学校の高学年の子は部活もありませんし、登校日もほとんど1日しかありません。家庭で何か役割を持っている子や、日課を作っている子たちはいいと思うのですが、今はゲームやネットなどがありますので、時間を費やすことはできるかなと思いますけれども、それで果たして有意義な夏休みが過ごしているかなと考えさせられました。

2点目は、オリンピックが夏休みに入ってすぐに開催されました。いろいろな国の選手達が、このオリンピックに人生をかけたり、いろいろな思いを持って取り組んできたことを、学校がある期間であれば友達と話したり、先生方からいろいろと話を聞いたりして、オリンピックでの選手の活躍が、子ども達の生き方なり、思いに生かされていくと思うのですが、間が空いてしまう。9月に入ってから、学校でどのような取り扱いをされるか分かりませんが、せっかく大きなイベントをやったということで、子ども達にプラスになるようなそういう働きかけが、少し間が開いてしまうことが、残念だなというようにおもいました。パラリンピックはまだありますが、いろいろ選手たちの生きざまというものを、メダルをとるだけではなくて、取れなかった人たちの思いなども、いろいろ報道されておりますので、そういったものを生かしていけると、オリンピックをやった意義があったのではないかとおもいました。

以上です。

ありがとうございました。

教育長

天野委員

最後に天野委員お願いします。

私は、7月29日、田原市の要保護児童対策地域協議会代表会議に参加いたしました。

委員の皆様のお名前を見ていますと、地域の子どもの医療面、福祉面、子育てのプロフェッショナルの皆様で、そうそうたる顔ぶれで、様々な方面からの意見交換などもあり、大変勉強させていただきました。

虐待の相談経路として、子ども達と直接毎日関わっていらっしゃる学校や保育所以外に、近隣の住民ですとか知人の方からの通報というか電話が増加していますということでした。虐待対応ダイヤル「189」が無料になったということで、ちょっと気付いたときにも通報できるようにハードルが下がったことが考えられ、いい傾向だというお話を伺いました。

あと、小学校の校長先生からは、やはり学校では、家庭に直接入れてお話しもできるスクールソーシャルワーカーさんが活躍される場面があるということで、先生方も相談に乗っていただいているということでした。

あと、小児科の先生からは、待合室での親子の姿を見ると、お母さんもスマホを見ていて、子どもも子ども用のスマホを見ていて、待合室での様子が変わってきているということをおっしゃっていました。また、幼稚園の先生からも、お迎えを待っていらっしゃるお母さまもやはり片手にスマホを持っていらっしゃるということがありました。いろいろな先生から、子どもに対する愛情の薄さというものも気になっているという、年々悲しいことですが、虐待も増えている。様々な種類の虐待が増えているということも、愛情の薄さも一つの要因ではないかというお話がありました。大変貴重な会議に出席させていただきました。ありがとうございました。

以上です。

教育長

ありがとうございました。

次に、報告事項(2)「教育委員会委員の任命について」事務局から報告をお願いします。

教育部長

太田委員がこの9月30日で任期満了ということですが、再任の依頼をお受けいただきました。ありがとうございました。

今後でございますが、9月の市議会定例会で議会の同意をとるということで、議案として上程してまいります。議会の同意を得られれば、任期は令和3年10月1日から令和7年9月30日までの4年間ということになります。なお、この議案は、人事案件になりますので、総務部から議会に提出し、説明を行うことになりますので、よろしく申し上げます。

教育長

ただいま事務局の説明がありました。何かご質問等ございますで

教育総務課長

しょうか。

それでは、報告事項（3）「小中学校への寄附について」事務局から報告をお願いします。

令和3年度教育関係寄附一覧をご覧ください。

1番、2番は以前に報告しておりますので、今回は3番、4番について報告いたします。

3番、7月21日に牛田さん、山口さん、瓜生さんの三名から、市内18小学校へ、絵本の「僕が髪を伸ばすわけ」を18冊いただいております。資料次ページに、教育長への贈呈の際の様子と絵本の写真がつけてあります。

続きまして4番、7月26日に野田の株式会社河合組様から、野田小学校へ運動場の防球ネットの寄附をいただいております。先ほどの写真の裏面に防球ネットの写真がございます。こういった形で設置していただいておりますので、ご報告させていただきます。

以上でございます。

教育長

事務局の説明が終わりました。

小中学校への寄附について、何かご質問等ございますでしょうか。

それでは以上で報告事項を終わります。

教育長

次にその他ですが、事務局から何かありますでしょうか。

教育総務課長

教育総務課のほうから、まずは、次回の日程でございます。第9回の定例会につきましては、9月22日水曜日午後1時30分から、この場所で行いたいと思っておりますので、ご予約のほうをお願いしたいと思います。

それから、来週24日は、いよいよ伊良湖岬小学校竣工式でございます。お忙しい中とは存じますが、ご出席のほどよろしく願いいたしたいというように思います。

最後に、お手元に2つ資料を配布させていただいております。1つ目は、田原ポケット統計です。これは最新版ができましたので、またご活用いただければと思います。

2つ目は、7月16日に開催予定でした三遠南信教育サミットにつきまして、書面開催となりましたので、資料のほうをそのような形で作成いたしました。またじっくり時間の空いたときにご拝読いただければと思っております。

私のほうからは以上でございます。

教育長

ただいまの件について、何かご意見ございますでしょうか。

事務局のほうでほかにありますか。

スポーツ課長

スポーツ課から、2点お願いいたします。

まずは1点目、9月12日に予定しておりましたトライアスロンですが、中止ということに決定しておりますので、ご承知おきください。

2点目は、12月4日土曜日を予定していました市町村駅伝ですけれども、これについても中止という形になりましたので、こちらもお承知おきください。

以上2点でございます。

教育長

中部・北陸実業団駅伝は、どうですか。

スポーツ課長

中部・北陸実業団駅伝は、現在やる予定で動いております。

今年度は11月7日を予定しています。

いつもは11月の第3週でしたけれども、ニューイヤー駅伝が1月でするので、今年度は、第1週の7日に持ってまいりました。

教育長

事務局、ほかにありましたら。

文化財課長

文化財課です。博物館の平常展になるのですがチラシを配布させていただきました。

8月21日からリトさんという、自身がADHDという障害をお持ちの方で、葉っぱを切って切り絵にしていると、葉っぱアーティストと自身で呼んでおられるのですが、こういった方の展覧会を開かせていただきます。企画展示室2という部屋で準備をしております。作品のほうは、非常にほっこりするとか、繊細ですごく感動します。私自身も目にしてすごく感動しているのですが、いい作品だと思います。このタイトルですが「リト@葉っぱ切り絵」、リトアット葉っぱ切り絵というように読むそうなので、1枚の葉っぱで表現する世界ということで、21日の午後と22日の午前中は、作者のリトさんが来館していただけるということをおっしゃっておりますので、もしよかったらPRしていただいて、ご来館いただければと考えております。

プラス、同時開催で田原のアーティストということで、チラシの裏側を見ていただきますと、下のほうにこちらも障害をお持ちの方のアーティストさん達、また、田原にゆかりのある、田原の出身であったり、在勤であったり、そういった方の作品のほうも、企業の協力をいただきながら飾っていくということで、今準備をしております。

それから、田原市の文化財という年報も本日お配りさせていただきました。文化財課のいろいろな事業の令和2年度実績等がまとめられておりますので、またお時間のあるときにご覧いただければと思います。

以上です。

教育長

では、次に図書館。

渥美図書館係長

図書館のほうも、こちらの緑色の田原市図書館の図書館事業年報というものを机の上に置かせていただきましたので、またお時間があるときにご覧ください。お願いします。

教育長

事務局のほうから、そのほかよろしかったでしょうか。

委員の皆さん方のほうから何かございましたらお願いします。

それではないようですので、以上で本日の議事は全て終了いたします。

した。

これもちまして田原市教育委員会第8回定例会を閉会とさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

閉 会 午後3時10分

(会議録署名人)

教育長

委員

委員